

**【表紙】**

**【提出書類】** 臨時報告書

**【提出先】** 関東財務局長

**【提出日】** 平成26年5月16日

**【会社名】** ホシデン株式会社

**【英訳名】** Hosiden Corporation

**【代表者の役職氏名】** 代表取締役社長 古 橋 健 士

**【本店の所在の場所】** 大阪府八尾市北久宝寺一丁目4番33号

**【電話番号】** (072) 993-1010 (大代表)

**【事務連絡者氏名】** 取締役社長室長 本 保 信 二

**【最寄りの連絡場所】** 横浜市神奈川区入江一丁目14番25号

**【電話番号】** (045) 423-2201 (代表)

**【事務連絡者氏名】** 常務取締役 井 野 英 一  
(国内営業・アジア営業担当)

**【縦覧に供する場所】** ホシデン株式会社 東京支社 (東京営業部)  
(横浜市神奈川区入江一丁目14番25号)  
株式会社東京証券取引所  
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

## 1 【提出理由】

当社及び当社グループの財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況に著しい影響を与える事象が発生いたしましたので、金融商品取引法第24条の5第4項及び企業内容等の開示に関する内閣府令第19条第2項第12号及び第19号の規定に基づき、本臨時報告書を提出するものであります。

## 2【報告内容】

### (1) 営業外収益の計上

当該事象の発生日

平成26年3月31日

当該事象の内容

平成26年3月期(自平成25年4月1日至平成26年3月31日)において、為替相場の変動による為替差益を営業外収益に計上いたしました。

当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

平成26年3月期(自平成25年4月1日至平成26年3月31日)の個別決算において為替差益32億77百万円、連結決算において為替差益33億93百万円を営業外収益に計上いたしました。

### (2) 特別損失の計上

当該事象の発生日

平成26年5月9日(取締役会決議日)

当該事象の内容

#### イ 減損損失の計上

当社及び連結子会社が保有する固定資産について、収益環境の悪化により将来キャッシュフローが当該資産グループの帳簿価額を下回るため、各種固定資産を回収可能価額まで減額し、当該減少額を特別損失に計上いたしました。

#### ロ 関係会社株式の評価損

当社が保有する関係会社株式のうち、実質価額が著しく低下した海外子会社の株式について減損処理を実施し、関係会社株式評価損を計上いたしました。

当該事象の損益及び連結損益に与える影響額

#### イ 減損損失の計上

平成26年3月期(自平成25年4月1日至平成26年3月31日)の個別決算において減損損失25億52百万円、連結決算において減損損失50億45百万円を特別損失に計上いたしました。

#### ロ 関係会社株式の評価損

平成26年3月期(自平成25年4月1日至平成26年3月31日)の個別決算において、関係会社株式評価損24億58百万円を特別損失に計上いたしました。